





遺跡

人丸塚

弘仁三年(八三二年)僧空海が

ここに楊柳寺を建てた

仁和のころ(八六〇年)のころ住職

覚証が柿本人麿公の夢の

おつけて人麿公を祀った

明石築城後は城の守り神

として祀られてきた

兵庫県

横山屋楼句碑

「鴉の声屈するところなかりけり」

横山屋楼は明石の人

松瀬青々の弟子となり30才で
倦鳥派の大家となりました

大正14年月刊俳句誌「漁火」を

創刊門下誌友は全国に及び

現在527号を数える盛大です

昭和20年3月28日61才で明石
でなくなり朝顔光明寺に墓が
あります

昭和48年7月

兵庫県











歴史とロマンが
おりなす 城下町

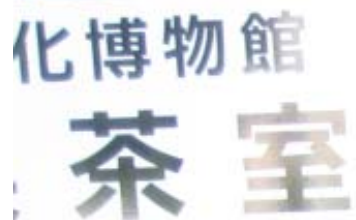












ランチ まるせいゆ

今日の催し
1F: 常設展

玩學特刊展

橋本海関・関雪展
—父子の歩み—
2月10日～25日

2015年9月12日(土) ~ 10月25日(日)
会期中無休

【票 價】成人500/400円、大童300/240円、小童150/120円、以下無料

新丸森町事務所 099-334-0001
 新庄市立文化博物館
 山崎屋敷、山崎町町史館・仁瀬内センター
 新丸森町事務所

明石市立文化博物館

© 2004 Blackwell Publishing Ltd, *Journal of Internal Medicine* 255: 111–117

9:30~18:30



都心回遊路 時の道



都心回遊路は、歴史と文化を織りこんだ、明石駅～明石公園～明石
天文科学館～中崎遊園地～明石港～銀座などを結ぶ散歩道です。

公園周辺の上の丸台地からは
弥生土器をはじめ、古墳時代の
須恵器・土師器・埴輪などが見つ
かっています。また、古代の人々が
食べていたバイガイ・ハマグリ・
サザエなどの貝類・獣の骨も見
られています。昭和六十二年八月
市民の方々と一緒に、この公園を
発掘調査しました。その結果、弥生
土器などが見つかり、昔から人々
は海に面した日あたりの良い南向
きの台地を選んで暮らしていたこ
とがわかりました。

明石市教育委員会



公園周辺の上の丸台地からは
弥生土器やよいをはじめ、古墳時代こふんの
須恵器すゑ・土師器はじ・蛸壺たこつぼなどが見つ
かっています。また、古代の人々が
食べていたバイガイ・ハマグリ・
サザエなどの貝類けもの・獣の骨も発見
されています。昭和六十二年八月
市民の方々と一緒に、この公園を
発掘調査しました。その結果、弥生
土器などが見つかり、昔から人々
は海に面した日あたりの良い南向
きの台地を選んで暮らしていたこ
とがわかりました。





明石市指定文化財

(昭和四十九年二月八日)

工芸品「明石城太鼓」

一、明石城がつくられた時から
太鼓門に置かれ、時刻を知
らせていた。



一、太鼓の内側には歴代の藩主
が皮の張替修理をした墨書
銘がある。

一、胴はけやき造りで、胴部の
直径八〇cm、全長八四cm、
最大周囲二七〇cm、皮は合計
一〇四本の鉄の留釘で張られ
ている。

明石市教育委員会



















明石市立天文科学館
柿本神社・月照寺
明石市
明石観光協会





建造物「月照寺山門」

明石市指定文化財

(昭和四十五年度)

一、元和四年(1618) 小笠原忠政が

徳川秀忠から 伏見城薬医
門を拝領、明石城の切手門
とする。



一、明治六年、月照寺山門とし
て移し建てられた。

明石市教育委員会







由来略記

当山弘仁二(八三)年弘法大師空海が現明石城本(八)地(二)湖南山
楊柳寺ヲ建立シタニ始ル

仁和三(八三)年任僧覺証和尚が大和國柿本寺ヨリ船乗テ而觀世音
菩薩ヲ勸請シ同時ニ柿本人麿ノ祠ヲ建テ鎮宇トシ寺号ヲ日照寺ト改メ

天正三(一五七五)年三才雲龍寺ヨリ安室春泰禪師来リ坐禪ニ入リ
人麿ノ神靈が現レ禪定ヲ讀セラルトセ日ニ及ブ依ツテ曹洞宗ニ改宗シ
改宗開山トナル

元和五(一六二〇)年明石城ノ築城ニ際シ此地ニ移サレタ 享保八(一七二三)年
人麿ニ神位神号が贈ラレ各天白王ヨリ宸筆半短冊外多クノ品ヲ賜ツタ

延享元(一七八四)年前宝鏡寺本覚院宮ヨリ人麿山ノ額ヲ奉納ガヤリ
此ノ時ヨリ山号ヲ人麿山ト改メタ

明和六(一七六九)年永代長日勒願寺ノ沙汰ヲ蒙ツタ



子午線標永柱

日本標準時子午線標示柱

この子午線標示柱は、日本標準時の基準である東経135度子午線の位置を示しています。東経135度子午線は、昭和3年に京都大学観測班が天体観測を行って人丸山上を通過していることが分かりました。この結果、昭和5(1930)年1月、月照寺山門前にこの標示柱が建設され、「トンボの標識」の愛称で呼ばれるようになりました。そして、昭和26(1951)年の再観測で現在の位置(11.1m移動)に設置されています。

標示柱は、高さ約7m、鉄柱の直径15cmで、上部のカゴ状の球は地球を表し、球の上には「あきつ島」(日本の異名)を象徴したトンボ(あきつ)がのっています。

明石市・明石観光協会









柿木神社

明石
清酒

厄除祈願

自動車祈願受付

古神札

七五三まいり



工芸品 石造狛犬

明石市指定文化財

(昭和五十八年度)

一、明石市内の石造狛犬の中で
一番古いものである。

一、向って右の狛犬は阿形あぎようで牙
があり高さ109 cm、台座109 cm

左の狛犬は呺形うんぎようで角があり
高さ99 cm、台座110 cm

一、狛犬の材質は砂岩で台座は
花崗岩 宝暦四年(1754)の銘が
ある。

明石市教育委員会

御由緒

当社御祭神、柿本人麿公は

飛鳥時代に宮廷にお仕えになられた歌人で
明石にて詠まれた歌も数多くあります。

元和六年（一六二〇年）

当時、明石城主であった小笠原忠政公が
人麿公を歌聖として大変崇敬され
縁深いこの地にお祀り致しました。

主なご神徳は、学問・安産・火災除
更には、非常に愛妻家として知られる公を
夫婦和合の神としても
お祀り致しております。

御命日とされる旧暦三月十八日

（現在では四月の第二日曜日）

には本御輿に地域の子供達の神輿も加わり
計五基のお神輿が練り歩き賑わいます。

■ 末社

五社稻荷社

天神社

荒神社

あまざか ひな ながち こ く
天離る夷の長通ゆ恋ひ来れば

あかし と やまとしまみ
明石の門より大和島見ゆ

ともしび あかし おほと い ひ
留火の明石大門に入る日にか

こ わか いへ み
漕ぎ別れなむ家のあたり見ず









